



TOP MESSAGE

社員全員が「相互理解」の思想を持てるように

近年どの領域でも「ポリティカルコレクト」が叫ばれています。私はこれを「男女平等の問題」という視点だけでなく、性的マイノリティや障がい者も含めた「すべての人が平等にチャンスを得られる環境づくり」であると考えています。当社では入社時に性別を問いません。個人の属性にとらわれず、その人の持つ可能性を存分に発揮できる環境を用意することが私の役割。そしてこれら相互理解の思想を社員全員に浸透させ、社としてのスタンダードにしたいと考えています。



お互いが理解しあえる環境に！

profile
代表取締役社長 高橋 正樹さん

会社情報

- 設立 1973年12月
- 代表 高橋 正樹
- 資本金 5,000万円
- 従業員数 210人 (男95人/女115人)

〒986-2231
社鹿郡女川町浦清浜字浦宿81-36
TEL / 0225-53-2854
FAX / 0225-53-2854
<https://www.takamasa.net/>

求人情報

- 初任給 基本給158,000円~180,000円
- 福利厚生 賞与年2回(前年度実績)、通勤手当、職務手当、精勤手当、健康保険、厚生年金保険、雇用保険、介護保険、労災保険、育児休業、介護休業、看護休暇
- 休日休暇 年間休日93日(会社カレンダーによる)、有給休暇
- 職種 製造職、営業職、事務職、店舗スタッフ、管理職候補
- インターンシップ受け入れ/あり ■ 大学生アルバイト受け入れ/あり
- 採用担当者連絡先/TEL0225-53-2854(総務部・佐藤) ■ kakou02@takamasa.net

CORPORATE RESEARCH

- 会社案内請求
- 自社説明会
- 会社見学

採用までの流れ

- ① 書類選考
- ② 面接

採用ページはコチラから



マイナビ リクナビ

女川を背負う、という意識を持って仕事に臨む

震災後は復興の旗印となり地域を牽引したことと知られる、女川の蒲鉾メーカー「高政」。本社再建時には商品購入、工場見学、蒲鉾手焼き体験ができる「万石の里」を併設オープンし、女川町の活性化を後押しして来た。

高橋正樹社長は、企業の成長は「一人」にあるとし、人材育成に最も力を注いでいると語る。「いまや高政といえど、あの女川の」と言われるほど、町のイメージが色濃く、営業職や接客担当だけでなく、社員一人ひとりが、女川を背負って立つ、という自覚の下、ビジネスマナーや一般教養をきちんと学んでもらっています。

良いと思つたものは積極的に取り入れる、という姿勢に、おいても出色だ。例えば「製造工場のマニュアルを現場スタッフが作る」ということもそのひとつ。いわゆる「ピヤリハット」が、どの部分で起きやすいかを徹底的に洗い出し、自分たちで「負」を潰していくことで、マニュアルに血を通わせるのだという。

商品開発においてもその視点が冴える。「蒲鉾II」中高年向けの贈答品という印象は、そのまま開発者の属性を映したものではないかと、この考えから開発チームを20代から40代の男女という幅広い属性の社員で構成、アプローチ手法も、従来の「この商品をいかに売るか」ではなく「このターゲット層に向けて売る商品を作る」というマーケティングのスタイルへシフトした。こうして誕生したのが、「カキを美味しく食べるための蒲鉾」という、主従を逆転させた商品「御膳蒲鉾かき」。

その品質と着眼点が評価され、先日は農水省主催の「農林水産祭」において、見事、天皇杯に輝いた。

社員一人ひとりの声に耳を傾け、新しいアプローチや従来にない取り組みも「良い」と思えば積極的に取り入れる。そこから得られた知見を、地域により良い形で還元するという姿勢で、今後より一層、飛躍していくであろう企業だ。

file 09

たかまさ
株式会社高政

水産加工品製造・販売

新しい視点と地元貢献を柱に 未来へ向けて歩みを進める

内から外への多様性
商品開発の新たな手法